

第40回

申込要・参加費無料

都島メディカル・カンファレンス

本会は、医師会と大阪市立総合医療センター、近隣の診療所・病院勤務の先生方や多職種の方々と、症例検討を中心としたカンファレンスです。このカンファレンスを通して診療レベルが向上し、相互の信頼と親睦が深まり、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療を提供する一助となる事を目的としています。

専門家でなくてもきちんと理解できるプログラムを企画いたしました。

皆様と一緒に勉強したいと思いますので、ぜひ、ご参加ください。裏面のFAX申込書でお申し込みください。

2026年 **9月19日** (土)

15:00～17:00 (14:30受付開始)

会場：大阪市立総合医療センター 3階さくらホール

対象：医療従事者

※資料などの準備の都合上、事前の申し込みをお願いしておりますが、当日参加も可能です。

【開会あいさつ】総合診療内科担当部長 山口 利昌

【症 例①】「けいれん」を主訴に救急外来を受診した患者の検討
総合診療内科 山本 里佳子/井上 侑子

救急外来ではけいれん患者にしばしば遭遇します。その多くは症候性てんかんを含む既知の疾患による発作です。一方で、けいれんの原因が重篤な中枢神経感染症や代謝性脳症、循環器疾患であった症例もあり、けいれんについてはてんかん発作の誘因を検索するだけでなく、多彩な病態、患者背景を念頭に診察する必要があります。今回、当科で実際に経験した症例を提示の上でけいれん患者の診療におけるポイント、アプローチについて考察します。

【症 例②】発熱、頭痛で来院し、自己免疫性GFAPアストロサイトパチーと
診断された60歳代男性の一例
総合診療内科医長 中村 遼太

GFAPアストロサイトパチーは自己免疫性中枢神経疾患の一つであり、初期には傾眠など非特異的症状のみで発症することもあり、診断に難渋する場合がある疾患です。本症例では発熱、頭痛、ミオクローヌス症状の出現を契機として、造影MRIでの特徴的画像所見から診断に至りました。本疾患の概念や治療などについて共有いたします。

【特別講演】子どもと青年のてんかんについて
～基礎から最新の治療まで～

小児脳神経・言語療法内科部長 岡崎 伸

てんかんは小児期と高齢者に多く発症する疾患であり、我が国で約100万人いるといわれており比較的頻度の多い疾患です。てんかん発作は適切な診断と治療で、約7割が抑えられ、それが長期予後を左右するとも言えます。当センターはわが国で2番目に、入院によるてんかんの内科的な診療が多い病院であり、多くの患者さんが入院による精査や治療を受けていただいております。私からは、てんかんの基礎知識や対応など基本的なことから、当センターの最新の診療として、抗てんかん発作薬・外科治療などをお話しさせていただきます。近隣の皆様との連携はとても重要と考えており、地域全体で患者さんを支える医療を目指したいと思っております。

【閉会あいさつ】総合診療内科部長 山上 啓子

主催：

地方独立行政法人大阪市民病院機構

大阪市立総合医療センター

【事務局】

総合診療内科

総合診療内科

【お問合せ】地域医療連携センター

山上 啓子

山口 利昌

小川・古澤

☎06-6929-3633 (直通)

第40回都島メディカル・カンファレンス（MMC）FAX申込書

大阪市立総合医療センター地域医療連携センター

申込FAX番号 06-6929-0886

お手数ですが、枠内にご記入の上、FAXにてご送信ください。

ご参加いただける方のお名前の記載をお願いします。

なお、誠に勝手ではございますが、**9月11日（金）**までにご返信ください。

※本講演は、大阪府医師会生涯研修の認定を受けています。

医師会申請にあたって、医籍番号の登録が必要になりますので、
ご協力お願いいたします。

参加者氏名		
①	職種	医籍番号
②	職種	医籍番号
③	職種	医籍番号
④	職種	医籍番号
施設名		
施設所在地等	住所 TEL	

【案内図】

※当日登録も可能ですが資料のお渡しが出来ない可能性があります。



大阪市立総合医療センター 3階 さくらホール
大阪市都島区都島本通2-13-22

最寄り駅

- 大阪メトロ（谷町線）都島駅 2番出口から西へ徒歩3分
- JR西日本（大阪環状線）桜ノ宮駅 東出口から北へ徒歩7分

【事務局】

総合診療内科 山上 啓子
総合診療内科 山口 利昌

【お問合せ】

地域医療連携センター 小川・古澤

☎06-6929-3633（直通）

